※令和４年度以降入学生用

学校番号	C2101

令和５年度　数学科

科目	数学Ⅰ入門	単位数	３	必要Ｓ出席数	３
使用教科書	な　し				
副教材等	高校数学への計算徹底　（東京書籍）				

	年間総数	１範囲	２範囲	３範囲
レポート	９通	３枚	３枚	３枚
スクーリング	１２回	４回	４回	４回
テスト	１回	あり	なし	なし
課題・実習等				

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

高校数学に必要な基礎的な計算能力を、演習を通じて習得するための科目です。数学の苦手な方で、正負の足し算、引き算ができない方は、「数学Ⅰ」を履修する前にこの科目を受講することが望ましいです。正負の計算ができる方は「数学Ⅰ」を受講してください。
演習もスクーリング中に行います。スクーリングの必要最低回数は３回ですが、受講される方はなるべく多くの回数のスクーリングを受講することがのぞましいです。

２　学習の到達目標

①正負の計算、分数の計算、文字式の計算、根号を含む式の計算などの計算方法を理解する。
②演習・反復練習など行い基本計算を習得する。
③「数学Ⅰ」に必要な基礎的な計算能力培い、数学のよさを認識できるようにする。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	正負の計算、分数の計算、文字式の計算及び根号を含む式の計算における基本的な概念，原理・法則等を体系的に理解し，知識を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，正負の計算、分数の計算、文字式の計算及び根号を含む式の計算の考えにおける数学的な見方や考え方を身に付けている。	数学の基本事項の良さを認識し数学の基本を理解しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，計算力を高める努力、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

- 学習指導要領（第１章第７款の４）に則り，ラジオ・テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習による面接指導時間数の免除（面接指導の時間数のうち 10 分の６以内の時間数を免除）の制度を活用する。
- 学年末に５段階で評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

範囲	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	正負の計算・分数の計算	正負の計算 加法、減法 いくつかの数の加法 加減の混じった計算 乗法、除法 いくつかの数の乗法 分数の計算 加法、減法 乗法、除法	a:正負の四則計算ができる。 b:数の大小を理解し、数直線上に示そうとする。分数の割り算は、割る数の逆数をかけることがわかる。 c:分数の計算方法を理解し、問題が解ける。	レポート 定期考査	レポート 定期考査	課題
2	文字式単項式	文字式の約束 同類項の計算 単項式の乗法 累乗を含む計算 単項式の除法 乗除の混じった計算″	a:文字式のきまりに従って文字式　を表そうとする。同類項をまとめるなど、整式の加法・減法の計算がわかる。 b:文字式のきまりに従って、文字式で表すことができる。 c:整式の乗法の計算を理解し、問題が解ける。	レポート	レポート	課題
3	多項式平方根	数×多項式 多項式の計算 多項式×単項式 分配法則を利用した展開 平方根の基礎 乗法、除法 加法と減法 分母の有理化	a:分配法則を利用して式を展開しようとする。かっこをはずして同類項をまとめ整理できる b:平方根の計算法則がわかり、具体的な計算に利用できる。 d:平方根の計算法則がわかり、いろいろな計算問題に利用できる。	レポート	レポート	課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度